



2021年9月15日

各 位

上場会社名 内外トランスライン株式会社
 代表者 代表取締役社長 常多 晃
 (コード番号 9384)
 問合せ先責任者 取締役 三根 英樹
 (TEL 06-6260-4800)

2021年12月期通期の連結業績予想及び 期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年4月30日に公表した通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年12月期通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,000	2,310	2,400	1,680	172.70
今回修正予想(B)	32,000	3,190	3,270	2,200	226.09
増減額(B-A)	5,000	880	870	520	
増減率(%)	18.5	38.1	36.3	31.0	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	22,209	1,411	1,484	850	87.48

修正の理由

当社グループの2021年12月期における通期連結業績は、4月30日に公表いたしました以下の状況が継続し、想定を超えて業績が進捗していることから、前回予想を上回る見込となりました。

(日本セグメント)

船会社との交渉によりコンテナスペースの確保に全力を挙げることで、単体においては主力の海上混載やフルコンテナの単価、数量とも予想を上回って推移しております。また、株式会社ユーシーエアフレイトジャパンは、航空貨物の需要を取込むことができました。フライングフィッシュ株式会社は巣ごもり消費の継続により、食品輸入の取扱いが順調に推移しております。結果、日本セグメント業績は当初を上回る見込となりました。

(海外セグメント)

当社海外子会社の多くは日本からの貨物に基因する収入を主たる売上としており、各現地法人での貨物取扱量が増加しました。また、フォワーディング案件も順調に推移した結果、海外セグメント業績は当初を上回る見込となりました。

以上の状況により、2021年12月期通期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想を上方修正いたします。

なお、第4次中期経営計画のKPI(2022年12月期 売上高300億円、営業利益率7.0%、ROE14.0%)につきまして、2021年において売上高320億円、営業利益率10.0%、ROE21.4%と、当初予定を繰り上げて達成見込となりました。

(注)上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なることがあります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年6月15日発表)	—	22.00	—	18.00	40.00
今回修正予想	—	—	—	28.00	50.00
当期実績	—	22.00	—		
前期実績 (2020年12月期)	—	19.00	—	17.00	36.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策のひとつと位置づけ、経営基盤を強化し積極的な事業展開のために内部留保の充実を図りつつ、安定した配当の維持を基本方針としております。

以上の方針に基づき、2021年12月期の期末配当金につきましては、2021年の業績予想を上方修正したことを勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするため、1株あたり10円の増配を実施することといたしました。これにより年間配当金は50円となる予定であります。

以上